

## 第3回「中部地域半導体人材育成等連絡協議会」 議事要旨

### 会合概要

日時：令和5年11月10日（金）14:00～16:30

形式：オンライン（Microsoft Teams）

参加：＜産＞（株）デンソー、イビデン（株）、ウエスタンデジタル（合）、キオクシア（株）、ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン（株）、タワーパートナーズセミコンダクター（株）、加賀東芝エレクトロニクス（株）、東芝デバイス&ストレージ（株）

＜学＞（大）東海国立大学機構名古屋大学、（大）名古屋工業大学、（大）豊橋技術科学大学、（学）トヨタ学園豊田工業大学、（独）国立高等専門学校機構岐阜工業高等専門学校、（大）三重大学、（独）国立高等専門学校機構鈴鹿工業高等専門学校、（大）富山大学、（大）金沢大学、（学）金沢工業大学

＜官＞愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、文部科学省、経済産業省

＜連携機関＞（一社）電子情報技術産業協会、（独法）国立高等専門学校機構、みえ半導体ネットワーク

＜事務局＞中部経済産業局

※順不同。オンラインによる参加の機関、書面による参加の機関含む。

### 議事：（1）上期実施の協業案件の共有等について

事務局より資料2を用いて、上期実施の協業案件の概要について説明した。その上で、産学の参加機関（計18機関）より、「上期に実施した／下期に実施予定の協業の取組」、「協業の実施に当たっての工夫点及びその効果等」の2点について発言いただき、上期・下期でそれぞれ約30件の協業案件が産学の参加機関間で組成され、人材育成・確保に向けた取組が活発に行われていることを確認した。

### 議事：（2）政府における政策動向について

経済産業省本省より資料3を用いて説明。

### 議事：（3）次年度に向けた協業の調整方法等について

事務局より資料4を用いて説明。協業の調整における課題や事務局への意見については、主なコメントは以下のとおり。

- ・協議会の参加機関については、協業の調整や、合同業界説明会の実施等といった協議会における取組を考慮すると、現状の規模感（産8社、学10機関）で妥当と考える。
- ・業界説明会やインターンシップ等については、大学の事務局等と調整を行うことが多いため、各教育機関には当該連絡先をオープンにしていただけると、スムーズに調整・周知が可能。
- ・今年10月に「CEATEC2023」（主催：一般社団法人電子情報技術産業協会）の中で開催された「地域産学官連携サミット」では、中部地域以外でも様々な人材育成・確保等の取組が行われていることを確認できた。この協議会においても、そうした他地域の取組を共有いただき、中部地域ではどんな取組が実施できそうか等を議論していけると良い。

- ・ 業界説明会については、大学生の参加を念頭に置いた日程では、授業等の都合もあり高専生は集まりにくい。

#### **議事：(4) 各ワーキンググループ（人材確保／人材育成）の進捗共有について**

事務局より資料5を用いて説明。

#### **議事：(5) NEDO 調査における人材確保・人材育成等に係るアンケートの実施について**

事務局より資料6を用いて説明。

#### **総括・総論**

参加機関同士の協業による取組については、次年度も継続して実施することとし、第3回協議会の開催以降に調整を開始することとなった。

また、「人材確保WG」及び「人材育成WG」については、引き続き、取組の具体化に向けた検討を行い、次回の協議会等においても進捗共有等を行うこととなった。